



部会だより

コロイドおよび界面化学部会

事業企画委員会の活動紹介

はじめに

コロイドおよび界面化学部会では、年1回の討論会と年間を通じた各種セミナーを開催しております。本部会は学際的な色合いが強く、コロイド・界面に関わる様々な分野、例えば、洗剤・化粧品・食品・膜・塗料・インキ・触媒・電子材料・電池・デバイス・バイオなど、私たちの日常生活に欠かせない製品から最先端の技術に関連しています。

そこで事業企画委員会では、多くの方に向けて情報を発信し、交流の場としていただけるよう、基礎から専門、応用まで幅広い講座を開催しております。毎回の企画に際しては、中心となる委員がトレンドに合わせたテーマを設定して魅力的な講師の方をお招きし、また、聴講者に満足いただけるように工夫を凝らしています。

今年度、これまでに開催しました企画と今後の予定についてご紹介します。

第39回コロイド界面技術シンポジウム

コロイド界面技術シンポジウムは、基礎研究と、それを基にした商品開発などを集約してお送りしております。

今回は、「感性を揺るがす界面化学：感覚の可視化、感性工学の最先端」と題して2日間にわたり開催しました。

1日目は【感性を可視化する最先端の研究】として「脳」、「触覚」、「味覚」、そして、視覚情報がほかの感覚に及ぼす効果について、感覚や感じ方の可視化を可能にしたセンシングシステム装置開発の詳細とそれを用いた研究事例をご紹介します。また、基調講演では、感性工学についての基本的な考え方と感性計測評価に基づいたモノづくりに関する研究事例をお話していただきました。

2日目は【感覚計測・評価技術の進歩とその応用】として、様々なヒトの感じ方のビッグデータの定量化、そして、なんとなくの心の動きを指数化する感性評価手法、技術の詳細と具体的な商品開発の応用例をご紹介します。最後に企業からは、顔の魅力知覚に関する心理学分野での知見、実使用場面を反映した使用感顧客観評価、そして、化粧品研究における分子感性工学の必要性について、心理・感性評価から商品開発を行っている研究者の方々に最新の研究成果をお話していただきました。

昨今関心の高い話題であり、また、バラエティー豊かなプログラムに対して、多くの方にご参加いただきました。

1つ1つの講演時間を長めに設定してじっくりとご講演いただけたことも幸いし、ご講演後、会場からは多くの質問を受けて活発な議論が行われました。

これからの部会事業

春には、企業の若手社員を対象として「界面コロイドラーニング」を企画しています。本基礎講座は、伝統あるセミナーの1つで「本当にわかる講義」をコンセプトとしております。実際には、企業はもとより産学の研究者など、幅広い職種と年齢層の方にご参加いただいております。従来は、講師陣への質問コーナーによりじっくり質問・議論する場を設定しており、ご好評いただけていました。オンライン開催の場合でもこの魅力を継続できるよう努めております。

また、コロイドおよび界面化学討論会に併せて「キャリア探セッション」を開催しています。これは、学生の皆さんに、社会人との交流を通じて今後の研究・仕事などキャリア形成を考える参考としていただく会です。ここでは、ほかの大学の方とも交流を深めてお互いに良い刺激となっているようです。

今後の講演会の詳細は、化学と工業、部会ホームページや化学会のメーリング等を通じて順次お知らせいたします。多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。

〔事業企画委員長 井賀充香（日本ペイントコーポレートソリューションズ株式会社）〕

© 2022 The Chemical Society of Japan